

テーマ：5月上中旬貿易統計

発表日：2011年6月8日（水）

～輸出は持ち直しへ。輸入増により貿易赤字は継続～

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 主席エコノミスト 新家 義貴
 TEL：03-5221-4528

本日、財務省から2011年5月上中旬の貿易統計が発表された。これによると、輸出金額は前年比▲9.3%となり、4月月間の同▲12.4%から減少幅が縮小した。旬別に見ると、上旬が前年比▲13.6%、中旬が同▲7.2%である¹。

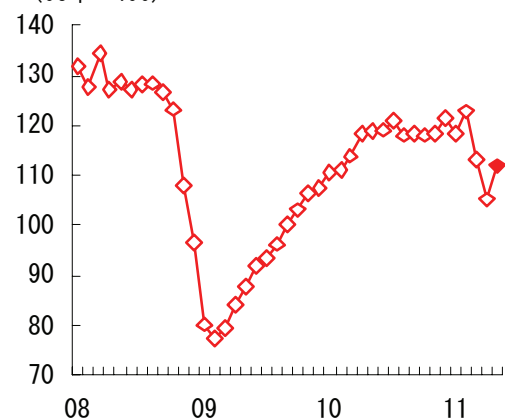
仮に5月月間の伸び率が上中旬と同じ伸び（▲9.3%）になったとして試算すると、5月の実質輸出²は季節調整済み前月比で+6.4%になる（名目では同+3.9%）。サプライチェーン寸断により輸出向け生産が滞ったことで3、4月の輸出は大幅に落ち込んだが、工場の再稼働などが進んだことにより5月には持ち直しの動きが出てきた。輸出は4月がボトムになる可能性が高いだろう。また、サプライチェーンの復旧は日を追うごとに進んでいるため、5月下旬の輸出は上中旬よりも強い結果になる可能性がある。5月の輸出は、この試算値よりも若干上振れ含みである。

なお、仮に5月が試算値通りの前月比上昇になったとしても、3、4月の落ち込みが大きかったことから、4～5月平均の値は1-3月期の水準を8.1%ポイント下回っている。6月に更なる上昇が見込めることを考慮しても、4-6月期の輸出は減少する可能性が高いだろう。

5月上中旬の輸入金額は前年比+13.4%と高い伸びとなり、4月月間の同+8.9%から伸びが拡大している³。仮に5月月間の伸び率が上中旬と同じ伸びになったとすると、季節調整済み前月比は名目で+2.8%、実質で+6.7%である。代替輸入の増加や火力発電用の燃料輸入増が影響している可能性があるだろう。

このように、輸出が持ち直す一方で輸入が増加した結果、5月上中旬の貿易収支は1兆534億円（原数値）の大幅な赤字になっている。ここで、上中旬の輸出入伸び率を元にして計算すると、5月月間の貿易収支は原数値で8545億円の赤字、季節調整値で4473億円の赤字になる。4月に続いて5月も貿易赤字が見込まれる。

(05年=100) 実質輸出の推移（季節調整値）



(注)2011年5月の値は上中旬の値から計算した試算値
 (出所)日本銀行「実質輸出入」、財務省「貿易統計」より作成

¹ 5月上中旬の平日日数は12日であり、昨年より多い。ただし、連休の谷間である5月2日は休日だったところも多いため、単純な比較は難しい。いずれにしても、5月はGWの影響で営業日数が少なく振れやすいため注意が必要である。特に、上旬、中旬に分けての数字にどれだけの意味があるのかは微妙なところだ。

² 輸出物価は未公表のため、筆者による予測値を用いた。

³ 旬別に見ると、上旬が前年比+23.6%、中旬が同+7.5%である。